

1. あらたな石巻市を目指して

「石巻市震災復興基本計画」では、次のように「新しい石巻市」の創造を目指している。

本計画では、復旧・再生を乗り越える新たな産業創出や減災のまちづくりなどを推進しながら、快適で住みやすく、市民の夢や希望を実現する「新しい石巻市」の創造を目指し、次の3つの基本理念を掲げます。

基本理念1 災害に強いまちづくり

多くの市民が被災し、電気、水道などのライフラインの寸断を引き起こした今回の震災の教訓を踏まえ、単なる「復旧」にとどまらず、防災基準・防災体制を抜本的に見直し、市民の命を守る災害に強いまちづくりを念頭に、新たな視点で都市デザインを描いたまちを構築するとともに、ライフラインの補完や快適な生活空間として新エネルギーを活かしたまちづくりを目指します。

基本理念2 産業・経済の再生

基幹産業である紙・パルプ製造業、飼肥料製造業、合板製造業及び食を支える重要産業である農林水産業などが壊滅的な被害を受けた中、今後の産業の連携・融合も含めた在り方を検討し、復旧・復興を促進するとともに、地域資源を活かした産業振興基盤づくりを図ります。

基本理念3 絆と協働の共鳴社会づくり

人と人との結びつき・「絆」を大切にするとともに、市、地域、企業、大学、NPOなどが総力を結集し、新たなまちづくりに向かって「共鳴」しながら、豊かで支えあう地域社会の構築を図ります。

この三つの基本理念に基づき、市では、さまざまな計画を策定するとともに、施策として実行に移している。主な計画は、

石巻市総合計画 平成22年6月(実施計画は毎年見直し)

石巻市震災復興基本計画 平成23年12月(実施計画は毎年見直し)

第2次石巻市地域情報化基本計画 平成25年6月 平成27年1月中間見直し

石巻市地域防災計画 平成26年12月改正

地域再生計画(東日本大震災からの復興まちづくりと被者を支える地域包括ケアの展開)平成27年第2期 中心市街地活性化基本計画 平成27年1月22日内閣総理大臣認定

石巻市まちなか再生計画 平成27年7月10日 内閣総理大臣認定

石巻市まち・ひと・しごと総合戦略 平成27年12月 平成28年12月改訂

石巻市総合交通戦略 平成28年3月

このほかにも石巻市観光復興プランなど様々な計画を策定している。

また、被災した市民会館・文化センターの代替施設として(仮称)複合文化施設が平成32年度の完成を目指して設計が進められており、その他、雄勝・北上・牡鹿の拠点整備事業、石巻駅周辺地区津波復興拠点整備事業、かわまち交流拠点整備、南浜復興祈念公園、リボン・アートフェスティバルなど多くのハード事業・交流事業などが行われ、他の復興事業もあわせ、「新しい石巻市」の創造を目指している。

2. 震災伝承・震災遺構

東日本大震災を後世に伝えるため、石巻市では、さまざまな取り組みがなされている。

震災伝承計画を策定中であり、また、写真データや地図・報道機関への提供資料等の収集・整理を行い、可能なものは、「東日本大震災アーカイブ 宮城(石巻市)」として、公開を行っている。

そして、旧門脇小学校校舎・大川小学校旧校舎の2つの震災遺構の保存を決定し、その整備に向けた検討が行われており、また、平成32年度(2020)の完成を目標に中核的施設および追悼空間を含む「石巻南浜津波復興祈念公園」の整備が進められている。



▲震災遺構として保存が決まった大川小学校旧校舎



石巻市//東日本大震災アーカイブ宮城

▲震災遺構として保存が決まった旧門脇小学校校舎